

区のお知らせ

足立区

企画室
TEL (882) 1111
足立区千住一丁目50

区では、年々ふえる行政需要に対処するため、過去5か年間にわたって「行政施設建設計画」をおし進めてきましたが、45年度で一応の成果をみましたので、今年度からは、去る2月に発表された「足立区長期計画に関する答申」に基づいて、実施計画(3カ年計画)を策定中です。したがって、現在は前年度同様な考え方に立って、環境整備事業や社会福祉対策、青少年対策、教育施設の充実等に力を入れることにし、実施計画策定に備えています。

健康で快適な“まちづくり”をめざして

…… 予算総額 236 億84万円 ……

現在のように社会の動向がめまぐるしく変化する状況下においては、つねに実情に即応していける財政力を必要とします。

このためにも46年度の予算は事務の能率化につとめ、経常的経費の節減につとめました。しかし、行政需要は増大する一方で、7月14日現在の予算額は、一般、特別会計合わせて、総額236億円に達し、前年度に比べて13.5%も増加しています。

昭和46年度予算の概要

昭和46年度の足立区各会計補正予算が、去る7月14日開かれた区議会本会議で、議決されました。今回補正された予算額は、一般会計(補正2号)25億6158万1千円、国民健康保険特別会計(補正1号)1457万2千円、用地特別会計(補正1号)3億150万円で、この補正額を、既計上額に加えますと、一般会計19億5288万円、国民健康保険特別会計34億4606万3千円、用地特別会計6億190万円となります。

(46.7.14現在)

区 分	昭和46年度	昭和45年度	45年度に対する増減	
	千円	千円	千円	%
一般会計	19,552,880	17,290,067	2,262,813	13.1
国民健康保険特別会計	3,446,063	2,893,613	552,450	19.1
用地特別会計	601,900	603,100	△1,200	△0.2
合 計	23,600,843	20,786,780	2,814,063	13.5

注：△は減を示す

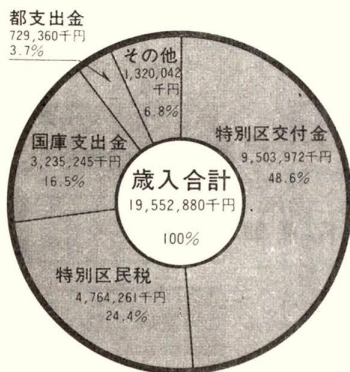
一般会計

歳入

特別区交付金

これは、東京都と23区および23区相互間の財政上の均衡を図るため、都区財政調整制度に基づいて、東京都が交付するものです。すなわち、区がその年度に行なう仕事に必要な費用(基準財政需要額)に対し、区税収入など(基準財政収入額)がそれを上回る場合は、その余分のお金(納付金)を都に納め、逆に足りない場合は、その不足分(交付金)を受けることになっています。

足立区は、23区中最も多くも交付金を受けており、46年度は95億397万円を受けました。



特別区税

総額は47億6426万円、この内訳は特別区民税が32億8792万円、軽自動車税が8697万円、特別区たばこ消費税が8億2749万円、電気ガス税が5億6188万円です。区民税収入(1人あたり)が他区に比べて少なく23区平均を大きく下回っています。

国庫支出金

総額32億3524万円。これは、国があらかじめ予算の使いみちを決め、地方公共団体の仕事に、負担金、補助金という名目で支出するお金です。そのおもなものは、生活保護費、保育所費、学校給食・学用品扶助費などです。

国庫負担金は、30億4954万円、国庫補助金は、1億8570万円です。

都支出金

総額7億2936万円。国庫支出金とほぼ同じ性質のもので、都負担金4億6895万円、都補助金7921万円、都委託金1億8120万円です。

その他

財産収入、諸収入、自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金で、11億6478万円、その他1億5527万円です。

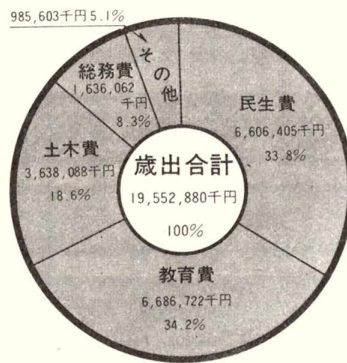
歳出

民生費

こどもやおとしり、婦人、心身の不自由な人の福祉、生活に困っている世帯の援護、そして、環境衛生や国民年金などの費用です。このうち、生活保護世帯が5,656世帯、13,037人(5月31日現在)あり、23区中で最高の数となっています。

教育費

児童・生徒の教育、青少年・成人の社会教育に使う費用です。いま、足立区は、人口の増加に伴う児童・生徒が急増しているため、学校の校舎・体育館・プールなど、学校施設の建設に追われています。



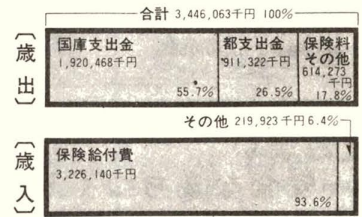
特別会計

国民健康保険特別会計 ……34億4606万円

- この保険に加入している方が対象です。
- 歳入—保険料と、国からの負担金・補助金、都からの交付金がおもな収入です。
- 歳出—医療機関に支払う療養給付費や、赤ちゃんが生まれたときの助産費用(1件あたり1万円)、死亡した人の葬祭に使う費用(1件あたり5千円)、そして、無料健康相談や健康家庭の表彰を行なう費用などがあります。

国保特別会計の内訳

(46.7.1現在)



用地特別会計 ……6億190万円

- 区の事業用地の効率的な確保を図るため、昭和43年度から設けられた特別会計です。
- 歳入—財産収入がおもです。
- 歳出—用地費のみです。

土木費 ……36億3809万円

道路・水路・公園・児童遊園などの建設や整備、区内の緑化(植樹)、また、いま大きな社会問題になっている公害防止のための費用です。

総務費 ……16億3606万円

区政の動きをお知らせする広報活動や、区の将来計画、区有財産の管理、戸籍や住民登録など、区の運営、管理に要する費用です。

議会費 ……1億8464万円

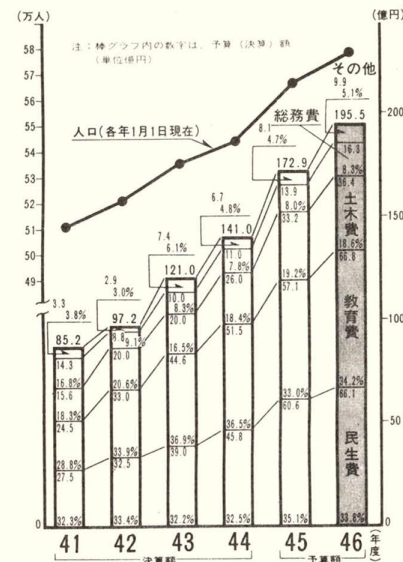
みなさんの意思を区政に反映させるための、区議会活動費用です。

その他

区内の中小企業や商店を盛んにするための産業経済費…7213万円、学校用地などの買収のための特別区債元利金などの公債費…6億7504万円、諸支出金…379万円、予備費…5000万円、です。

足立区の人口と財政の推移

(一般会計)



過密地域に消火器を配備

児童館なども建設

46年度の一般会計予算を性別に分けてみますと、義務的経費（扶助費、公債費、人件費）が、103億4526万円で52.9%、投資的経費（学校施設、児童福祉施設の建設、道路・水路の改良など）が、52億73万円で26.6%、その他の経費（各種施設の運営費、その他の一般行政費）が、40億689

一般会計予算額…195億5288万円



万円で20.5%という割合になっています。

なお、ちなみにこの予算額を区の人口（46年1月1日現在）で割ってみますと区民1人あたり、3万3833円の予算額ということになります。

この予算をもって、豊かなくらしと明るい足立区の建設に努めます。

くらしを豊かに

■ 児童のしあわせのために

- 児童手当の支給……………3億9664万円
- 保育園児に牛乳とおやつ……………888万円
- 保育室の運営委託……………419万円

■ おとしよりと心身の不自由な方のために

- 老人におこづかいを……………225万円
- ねたきり老人に見舞品支給(65歳以上)150万円
- 重度の心身障害者(児)に見舞品……………225万円

■ めぐまれない方の援助

- 生業資金の貸付……………1050万円

■ 福祉施設の建設

- 児童館の建設(2カ所)……………6467万円
- 保育園の建設(第二谷在家保育園)……………9966万円
- 学童保育クラブ施設の建設(3カ所)……………1266万円

そ の 他

- 運動場の整備(平野運動場、千住新橋グラウンド)……………5729万円
- 道路・水路台帳の作成……………9575万円
- 電子計算機による事務の機械化……………4893万円
- 中小企業向け融資……………685万円

学校施設の拡充

■ 校舎の新增改築

- 新增築
 - 〔小学校〕 元宿/西新井/関原/鹿浜第一/鹿浜西/舎人/島根/加平/東洲江/花畑西/洲江第二/竹の塚/西二伊興小分校/鹿浜第一小分校/中川小分校/花畑小分校/花畑第一小分校(計17校/166教室)……………12億3578万円
 - 〔中学校〕 第八/鹿浜/東島根(計3校/12教室)……………8536万円
- 改築
 - 〔小学校〕 千寿第七/千寿第八/西新井/西新井第一/関原/江北/宮城/亀田/栗原/弥生/東洲江/大谷田/伊興(計13校/94教室)……………6億4983万円
 - 〔中学校〕 第五/第六/第八/第十四/第十五/浦原(計6校/53教室)……………3億6640万円

■ 体育館とプール

- 体育館の建設
 - 〔小学校〕 関原/鹿浜第一/東伊興/西二伊興小分校(計4校)……………1億3134万円
- プールの建設
 - 〔小学校〕 宮城/栗原/柳原/舎人(計4校)……………6622万円
 - 〔中学校〕 第十五……………1708万円
- その他
 - 給食場の建設と施設整備……………5230万円
 - 便所の水洗化……………3374万円
 - 関屋幼稚園舎の建設……………6252万円

住みよい 安全なまちづくり

■ 大震災に備えて

- 地震のとき発生しやすい火災を防止するため、平均100戸に1本の割合で消火器を備えつける。特に、千住・梅田地区などの家屋密集地帯には重点的に配置し、初期消火に努める。……………2324万円
- 区役所・出張所などに防災用無線機を備えつける。……………566万円

■ 交通安全対策

- ガードレールの設置(13,300m)……………4123万円
- 歩道橋や道路反射鏡の設置など……………3964万円
- 水路にふたかけをして、児童・生徒の安全な通学路(歩道)をつくる(梅田七丁目地内ほか26カ所、5,798m)……………1億1500万円
- 交通安全思想の普及と献血運動の推進(小・中学生向け交通安全読本の作成、献血者に対する記念品など)……………1200万円

■ 公害防止のために

- 公害測定車の購入など(区内の公害汚染分布図を作成し、公害対策の資料をつくる)……………514万円
- 公害測定分析室と大気汚染自動記録装置の設置(測定結果を分析して、公害の原因をさぐる)……………1343万円

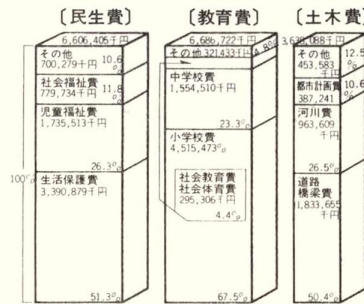
■ 道路・水路を整備

- 道路の拡幅8カ所(1,753m)……………2億700万円
- 路面補修41カ所(171,061㎡)……………4億8323万円
- 道路の応急修繕・清掃……………2億6819万円
- 街路灯の新設改良(1,256灯)……………5631万円
- 私道の整備(区有通路条例により、1.8m以上の私道舗装などを助成)……………1億6200万円
- 公共用水路の改良(暗渠化など、8174m)……………3億9012万円
- 花畑川護岸改修(800m)……………4000万円

■ 区内緑化と公園の造成

- 公園の新設と改良(諏訪木西公園ほか15カ所)……………1億4570万円
- 公園、小・中学校などに植樹……………5070万円
- 家のまわりを清潔に
 - 側溝の清掃……………3681万円
 - カとハエの駆除……………3132万円

おもな歳出の内訳



青少年を健やかに

■ こどもの遊び場対策

- 児童遊園の新設・改良(新田三丁目児童遊園ほか8カ所)……………1872万円
- 学校開放校施設の整備(校庭便所の設置や施設の充実)……………2748万円

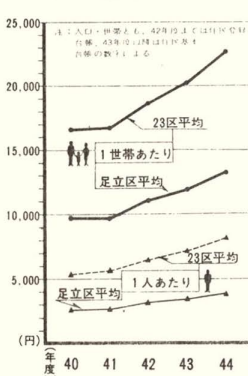
■ 青少年問題対策

- 青少年対策地区組織活動助成……………329万円
- 青少年団体育成……………493万円

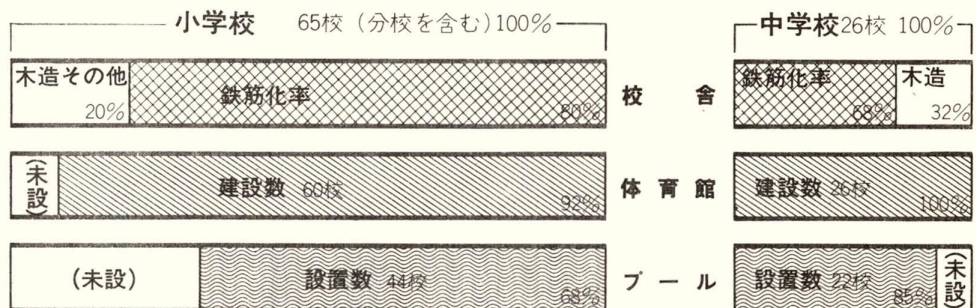
■ 児童・生徒の保健対策

- 心臓・尿の検査、うがい薬など……………4187万円

区民税負担の推移



学校施設の建設状況



(注) このグラフの数字は、46年度末現在で示しました。